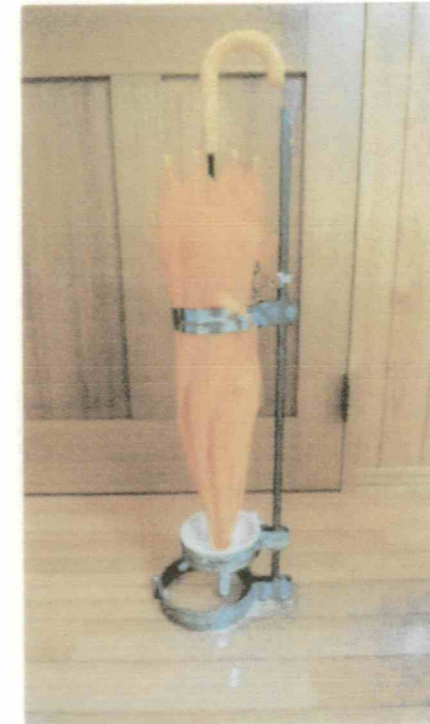


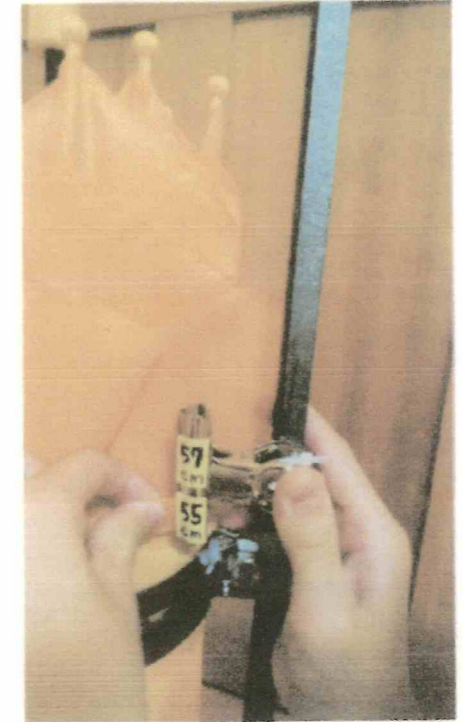
第59回富山県発明とくふう展・内容説明書（令和3年）

受付番号	437	学校No.	38
ふりがな	かいだ まい	学校名	滑川市立西部小学校
氏名	開田 真衣	学年	4
ふりがな	び・くる・ぼん ~びっとはさんで、くるっとまわして、ぼんととりだすかさまきき~		
作品の名称	ピ・クル・ボン ~ピッとはさんで、クルッと回して、ボンと取り出す傘まき器~		
(特徴)	<p>酷く雨が降った日は、びしょびしょに濡れてしまった傘を閉じるのはとても大変な作業である。しかも持ち手を回しながら紐でくくることは低学年には難しい。そこで、濡れた傘に触らなくてもスタンドに入れ、紐の先をクリップで止めて回すだけで、誰でも簡単に傘をくくって片づけることができる傘まき器を発明した。</p>		
(使い方)	<p>① 傘をスタンドに立てて入れる。</p> <p>② 紐の先をクリップで止める。</p> <p>(傘の長さに合わせて取り付け箇所を調節する。)</p> <p>③ 持ち手を持って1回転させる。</p> <p>④ マジックテープが止まっていることを確認して取り出す。</p>		
◇ 作品を作った動機や参考にしたものがあれば、下記 () の中に○印をつけて下さい。	<p>① () テレビ、科学雑誌、参考図書など</p> <p>② () 発明くふう展、科学館、大学祭、各種のイベントから</p> <p>③ () 講師や先生、両親などからヒントをもらった</p> <p>④ () 発明クラブ、理科の学習、各種工作教室から</p> <p>⑤ (○) その他、自分で考えた</p>		

略図（鉛筆書きでもよい）又は写真を貼り付けて作品の特徴を説明して下さい。
（※審査用にコピー（縮小）しますので、濃く見やすく作成してください。）



傘をスタンドに立てて入れる



傘の長さに合わせて取り付け箇所を調節する



持ち手を持って1回転させる
クリップを外れるまで回す



マジックテープが止まったことを確認して取り出す

【記載注意事項】

- この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
- 従来のも（方法）と比べて、どこを（何を）どのようにくふうしたか、要点をわかりやすく、図または写真でご説明下さい。
- 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
- この内容説明書は出品申込書と一緒に一覧表を添えて、令和3年9月21日（火）までに事務局へ提出して下さい。